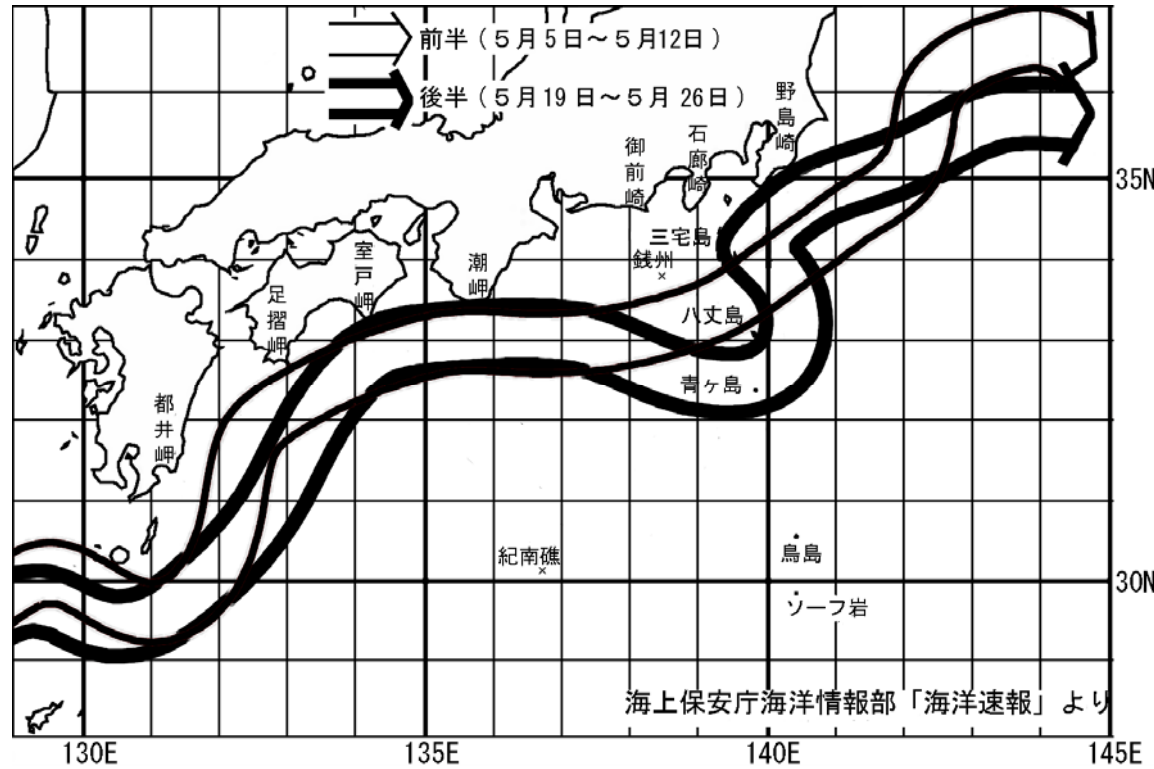


漁海況月報

平成23年 5月 1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半の黒潮は、九州の都井岬で離岸傾向を示し、足摺岬、潮岬で接岸して遠州灘沖の北緯33°付近を東進した。その後、三宅島と八丈島の間を通過して房総半島沖へ流去した。

後半の黒潮は、都井岬で離岸傾向が強まり、室戸岬、潮岬に接岸した後駿河湾沖で蛇行した。その後、伊豆諸島付近を北上して三宅島付近を通過した後、野島崎に接岸し房総半島沖を接岸傾向で流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では15~20℃台、駿河湾の東部では16~20℃台、西部では16~19℃台で経過した。県下沿岸は、上・中旬までは冷水域に覆われやや低めから低めで推移した。中旬以降に暖水波及が見られたため、平年並みからやや低めとなった。

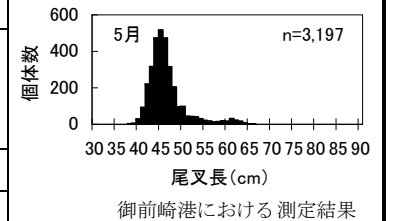
【竿釣近海カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は563トで前年同期の208%であった。魚価は323円/kgで、前年同期を下回った。

静岡県沖では、近海と沿岸竿釣り船が31°~34°N、138°40'~140°10'Eで小・極小(尾叉長45cmモード)カツオを主体に漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚 隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
23年 5月上旬	204	18	11.3	356
中旬	223	28	8.0	246
下旬	136	31	4.4	401
23年 5月計	563	77	7.3	323
22年 5月計	271	62	4.4	493
21年 5月計	249	55	4.5	460



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	16.1	16.3	16.3	16.2	17.3	17.0	16.8
	-1.0	-1.3	-0.6	-1.5	-1.0	-0.5	-0.5
中旬	16.6	16.3	16.2	17.8	17.9	17.0	16.8
	-1.3	-1.2	-1.4	-0.8	-1.0	-1.3	-1.3
下旬	17.8	18.3	17.2	19.1	19.1	18.6	18.1
	-1.0	0.0	-1.2	-0.4	-0.4	-0.6	-0.9
月	16.8	17.0	16.6	17.7	18.1	17.6	17.3
	-1.1	-0.5	-1.1	-0.9	-0.8	-0.8	-0.9

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は367トで、前年同期の同漁場の水揚量(581ト)の約6割、平年(昭和57~平成22年の平均、478ト)の約8割の量であった。

魚種別では、①サバ類104.1ト②カタクチイワシ84.3ト③マルソーダ72.0ト④マアジ60.4ト⑤スルメイカ10.4トの順に水揚げされた。

サバ類は尾叉長で33~37cmのゴマサバを主体に33~42cmのマサバが混じる状態で北川、川奈漁場を中心に前年同期の約3倍の量が水揚げされた。一方、カタクチイワシ、マルソーダは尾叉長でそれぞれ13cm、32cmのものが主に下旬以降、顕著に水揚げされたが前年同期と比較するとそれぞれ、約8割、約4割でしかなかった。また、マアジも体長で23~25cmの1歳魚が主体に水揚げされたが、前年同期の約6割にとどまった。

漁場別では、北川107ト(ゴマサバ、カタクチイワシ主体)、川奈68ト(マルソーダ、ゴマサバ主体)、古網59ト(カタクチイワシ、マアジ主体)、伊豆山52ト(マアジ、カタクチイワシ主体)の順に水揚げ量が多かった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ73トン(前年同月比57%)、ゴマサバ746トン(前年同月比127%)が水揚げされた。マサバの1隻あたり水揚量は、2.2トン/隻(前年同月比73%)で前月(9.4トン)に比べ大きく減少した。ゴマサバは22.7トン/隻(前年同月比162%)であった。マサバの平均単価は280円/kgで、前月(169円)、前年同月(231円)を上回った。ゴマサバは62円/kgで、前月(62円)、前年同月(63円)並であった。

たもすくいの漁場は前月の三本から大室出しに移動し、マサバ主体の漁獲であった。棒受網の漁場は前月に引き続き三宅、三本に形成されたが、前月までみられたマサバの混じりはほぼ皆無となりゴマサバ主体の漁獲であった。

たもすくいのマサバの魚体は、尾叉長32cmモードの2歳魚(2009年級群)主体に35cmモードの4歳魚(2007年級群)以上が混じり、前月に比べ大型魚の割合が増加した。棒受網のゴマサバについては、27cmモードの2歳魚(2009年級群)、1歳魚(2010年級群)主体であった。また、棒受網では26~27cmモードのオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
23年5月上旬	27	251	4	10	2.7	25.1	132	60	大室出し,三宅,三本
中旬	20	334	4	13	1.6	25.7	367	61	大室出し,三宅,三本
下旬	26	161	3	10	2.6	16.1	370	65	大室出し,三宅,三本
23年5月計	73	746	11	33	2.2	22.7	280	62	—
22年5月	128	586	15	42	3.0	14.0	231	63	大室出し,三宅,三本
21年5月	80	420	11	24	3.3	17.5	108	56	利島,大室出し,三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

5月は8日出漁し、水揚量は493トンと前年同月を上回った。漁場は沼津~富士川沖を主体に一部焼津~大井川にも形成され、水揚げされたサクラエビは、体長37mmにモードを持つ当歳エビと42mmにモードもつ1歳エビで、当歳エビが主体であった。

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均(kg)	漁 場
平成23年5月 上旬	189	3	平均 1,054	沼津~富士川、焼津~大井川
中旬	269	4	平均 1,120	沼津~富士川、焼津~大井川
下旬	35	1	平均 580	富士川
平成23年5月 計	493	8	平均 1,027	
平成22年5月 計	344	8	平均 717	沼津~富士川、大井川~吉田
平成21年5月 計	474	8	平均 989	沼津~由比、焼津~吉田

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が682kg、遠州灘が711kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は703kgと前年同期(416kg)の169%、平年同期(過去5か年平均:551kg)の128%と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は1,521.7トンで前年同期(1,053.5トン)の144%、平年同期(1,371.7トン)の111%と、前年同期、平年同期を上回った。平均単価は432円/kgと平年

同期(585円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	114.5	16	206	556	397
舞 阪	473.2	17	740	640	439
福 田	359.3	16	427	841	439
御前崎	127.9	14	138	927	382
吉 田	304.3	16	384	792	426
静 岡	142.6	13	271	526	475
平成23年5月計	1,521.7		2,166	703	432
平成22年5月計	1,053.5		2,534	416	591
平成21年5月計	137.3		829	166	645

[まき網]

小川港ではマイワシが8.3トンの水揚げで平年同期(13.9トン)の59%であった。沼津港では、マイワシが19.8トンの水揚げで平年同期(74.2トン)の27%であった。静浦港では、マイワシが0.7トンの水揚げで平年同期(1.6トン)の42%、カタクチイワシが6.6トンの水揚げで平年同期(305トン)の2%であった。伊東港ではマイワシが35kgの水揚げで平年同期(0.2トン)の18%であった。

注) 平年同期: 過去5か年(2006~2010年)平均

[調査船の動向]

駿 河 丸

5月 9日 ~	5月 10日	地先定線観測	(2日間)
5月 16日 ~	5月 20日	カツオ魚群分布調査	(5日間)
5月 25日 ~	5月 27日	サバ計量魚探調査、標識放流	(3日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

